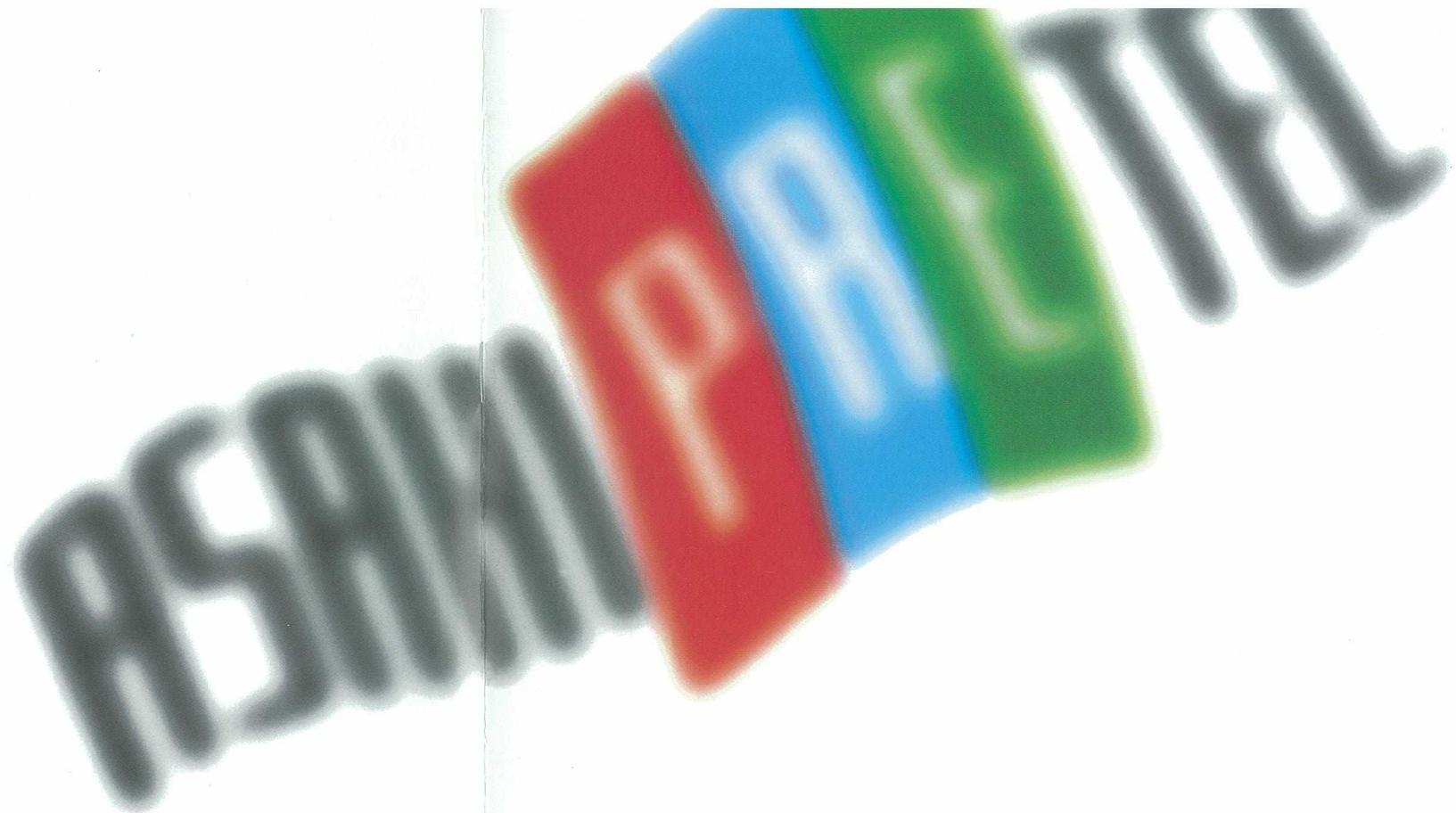


〒650-0001 本社／神戸市中央区加納町4-4-17ニッセイ三宮ビル
TEL(078)-333-5600 (代表) FAX(078)-333-5581
<http://www.asahipretec.com/>
本社:環境事業本部
TEL(078)-333-5631 FAX(078)-333-5588



この冊子は、再生紙を使用しています。

●事業所ネットワーク

札幌営業所 (ISO14001取得)
〒062-0174 北海道札幌市中央区北1条西1丁目6-2-11
TEL(011)377-5668(代)
FAX(011)377-6070

青森営業所
〒030-0921 青森市原別7-11-20
TEL(017)736-5062(代)
FAX(017)736-5287

仙台営業所 (ISO14001取得)
〒951-0113 宮城県仙台市青葉区荒巻町1-1
TEL(022)767-6777(代)
FAX(022)767-6778

新潟営業所
〒951-0151 新潟県新潟市西区片貝1丁字猪子堀新田282-4
TEL(025)45-5561(代)
FAX(025)45-5622

北関東事業所 (ISO14001取得)
〒346-0023 海玉町駅前杉戸町本郷第中616
TEL(049)53-4383(代)
FAX(049)53-4423

関東事業所
〒336-0026 さいたま市南区白樺5-13-10
TEL(048)864-0241(代)
FAX(048)862-6635

東京支社
〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-13 セトウル京橋ビル
TEL(03)32281-0181(代)
FAX(03)32281-0188

横浜営業所
〒226-0002 横浜市瀬谷区北町12-25

TEL(045)921-5711(代)
FAX(045)921-5712

甲府営業所
〒409-3813 山梨県甲斐郡笛置町一畠720-1
TEL(055)274-3701(代)
FAX(055)274-3704

静岡営業所 (ISO14001取得)
〒425-0004 静岡県駿東郡小山町174-3
TEL(054)626-0202(代)
FAX(054)621-0003

名古屋営業所
〒456-0033 愛知県名古屋市昭和区昭和町3-4-12
TEL(056)33-3033(代)
FAX(056)34-5556

北陸営業所
〒939-2101 富山市鞍原1丁目3-4-1
TEL(076)423-1222(代)
FAX(076)423-9391

阪神事業所(大阪営業所)
〒660-0842 兵庫県尼崎市大高洲町4-10
TEL(06)6409-6051(代)
FAX(06)6409-6052

パソコンリサイクルセンター
〒660-0842 兵庫県尼崎市大高洲町4-2
TEL(06)6409-6951
FAX(06)6409-6952

神戸事業所 (ISO14001取得)
〒658-0034 神戸市兵庫区魚崎浜町2-1
TEL(078)431-2981(代)
FAX(078)413-2024

テクノセンター (ISO14001・ISO50002取得)
〒651-2241 神戸市西区室町1-6-3
TEL(078)993-1300(代)
FAX(078)993-1321

岡山営業所
〒700-0012 岡山市北区日吉町3-4-1
TEL(086)948-4170(代)
FAX(086)948-4182

広島営業所
〒739-2101 島根県松江市西町1157-1
TEL(085)33-3033(代)
FAX(085)33-3033

環境事業 案 内

写真感光材料関連・廃棄物処理・リサイクル



環境保全のトータル・クリーン・リサイクルシステム

写真現像所、医療機関、印刷製版所などから排出される写真廃液、レントゲンフィルム、製版フィルムなどを回収し、銀のリサイクルと無害化処理をおこなっています。

また、ミニラボから排出されるフィルムケース、パトローネ、薬品ボトルは、圧縮・破碎処理後に素材材料として再利用するゼロエミッション・マテリアルリサイクルのルートを確立しています。さまざまな工程から出る

少量かつ多種多様な廃棄物の処分でも、ぜひアサヒプリテックにご相談下さい。

自動現像機のラック洗浄事業では、写真・印刷品質の安定化や機材の保全に役立っています。また、特定施設届出サポートや計量証明事業所（当社テクノセンター内）による排水分析など、サービスのさらなる充実に努めています。

回 収 品 目



ASAHI PRE TEC corp.



循環型 リサイクル



有害物処理・廃棄物処理・リサイクル

産業廃棄物のトータルソリューションを実施・提案

工場や事業所からは有害廃液などさまざまな廃棄物が排出されます。又、大学や民間企業の実験研究施設で不要になった廃試薬類は適正処理が必要です。

アサヒプリテックは、多品種にわたる廃棄物を、収集運搬段階からの徹底した安全管理体制でのぞむとともに、自社工場の無害化専用ラインでの中間処理、ゼロエミッション、マテリアルリサイクルの処理ルートを確保しています。

ラベルがはがれて内容物が不明な廃試薬類でも、高度な分析技術で判定し適正処理のアドバイスを行います。

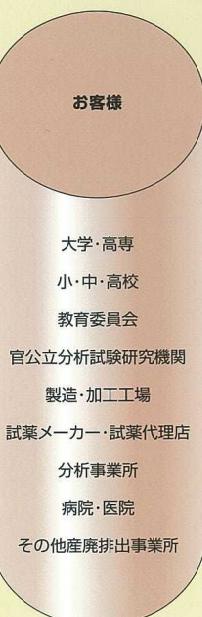


全国の産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の取り扱い許可を有しています。



計量証明登録事業所として、国の基準に合った設備と有資格者を擁しています。

最寄りの各事業所から、きめ細かな巡回訪問で対象物の回収を的確に行います。



産業廃棄物処理フローチャート

確かな技術とノウハウで取り組む

産業廃棄物の無害化処理と ゼロエミッション・マテリアルリサイクル

環境問題が地球規模で議論されるなか、各産業分野から排出される廃棄物の無害化・減量化・リサイクルの推進は、緊急かつ最大のテーマです。

アサヒブリッテックは長年培ってきた高度な技術とノウハウで、環境保全に貢献するさまざまな事業を展開してきました。その対象品目も、廃酸、廃アルカリ、汚泥、医療系廃棄物、廃プラスチック、廃油、廃試薬、廃医薬品など多岐にわたります。

法規制の強化、ISO14000'sの推進など環境負荷・リスクの軽減への取り組みが進むなかで、無害化処理にとどまらずゼロエミッション・マテリアルリサイクルへの社会的ニーズが高まっています。

アサヒブリッテックは環境保全のパイオニアとして、今後さらなる品目の拡充、サービスの向上を図り、お客様のあらゆるニーズにお応えしていきます。

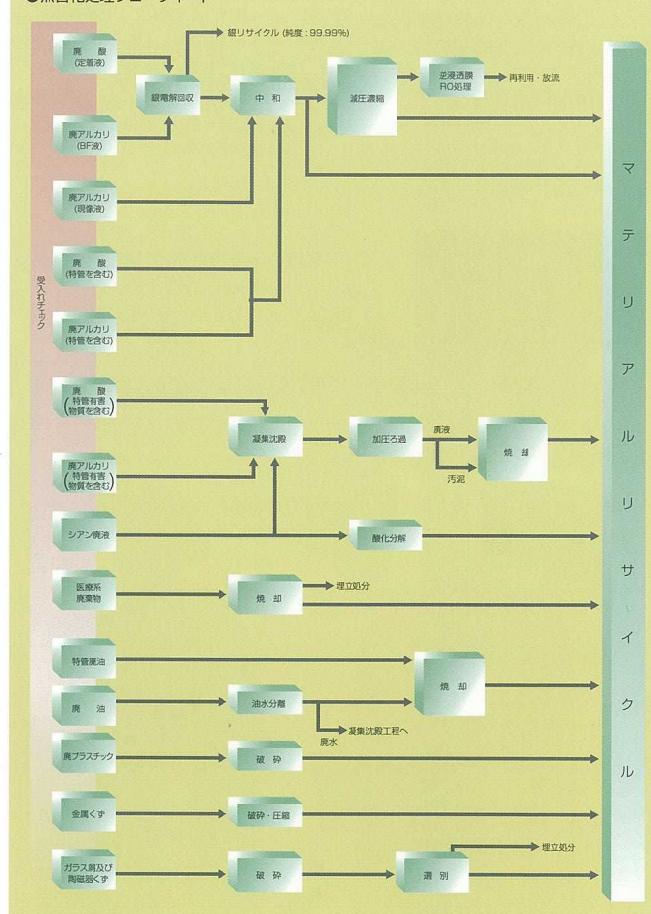
新時代の地上処理システムを実現した プラントエンジニアリング技術

高いBOD・COD廃液処理のために、減圧濃縮処理装置、逆浸透膜排水処理装置をはじめとする新たな地上処理システムを稼働させています。

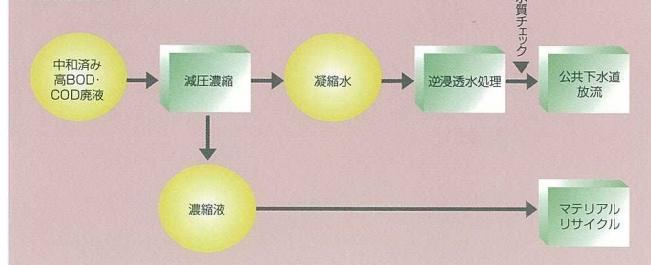
また、厳しいダイオキシン規制に対応して、廃プラスチック類、廃油、医療系廃棄物の焼却設備も高度な排ガス処理設備で規制をクリアし、無害化処理を実現しています。

このように、高度なプラントエンジニアリングで地球的視野に立った新しい処理システムを構築し、環境保全に努めることで、アサヒブリッテックの果たす役割は今後ますます大きくなっています。

●無害化処理フローチャート



●地上処理フローチャート



サービス体制・適正処理

最新の処理技術と独自のノウハウでの適正処理

ますます増え続ける産業廃棄物や特別管理産業廃棄物にとって、最も重要なのは、適正処理が行われているかということです。

当社は、優れた最新の処理体制・設備を擁しているばかりではなく、処理物の厳正なチェック体制や安全性の確保など、長年にわたる独自の企業努力により、各種公的機関や多くのユーザーの方々から厚い信頼をいただいております。



JQA-EM2139
環境マネジメントシステムの国際規格
ISO14001認証取得
神戸事務所

廃棄物の無害化処理

受入・分類処理

処理工程別に分類、仕分けします。



油水分離処理

遠心洗浄、油水分離工程で油分を抽出します。



凝集沈殿処理

自動洗浄工程で薬瓶やボリ容器の内外を洗浄します。凝集沈殿装置で沈殿させた汚泥をフィルタープレスで圧送します。



環境対策に適合した工場付帯設備



リサイクル

プラスチック、ガラスのリサイクル

リサイクル品を自動投入して破碎します。



リサイクル

タイル原料、プラスチック原料としてリサイクルします。



高度な分析技術で お客様の多様なリクエストに対応

飛躍する研究開発

資源再利用と環境保全のための技術に挑む研究開発部門に、産業界のみならず関係学会からも熱い注目が集められています。蓄積された分離回収技術、電気分解技術、金属溶融成形技術などの固有技術を基盤に新規事業、新規商品を創造するとともに、処理技術の改良・開発や、お客様に提供するための設計技術・設備の開発を進めています。

また、大学、専門研究機関との産学共同研究や世界の関連する企業との技術交流にも積極的に取り組み、よりグローバルな視野に立った研究開発を続けています。



●プラズマ発光分光分析装置(ICP)

高度な分析技術

テクノセンターや各工場の分析グループは、業界トップレベルを誇る最新鋭の分析機器を駆使した高度な分析技術で、アサヒブリッテックの多岐にわたる事業活動を支援しています。その業務は、回収した原料に含まれる貴金属・希少金属の品位分析、出荷する貴金属インゴット・化成品等の品質分析、工場排水・汚泥の環境分析の3つに大別されます。

また、計量証明登録事業所として、公的認明書の発行や官公庁への届出などご要望にもお応えしています。



●蛍光X線分析装置



●ガスクロマトグラフ質量分析計

徹底した品質管理

最終製品である貴金属インゴット、貴金属合金は、国際規格ISO9002に基づき徹底した工程管理を行い、つねに高品質製品の維持に努めています。



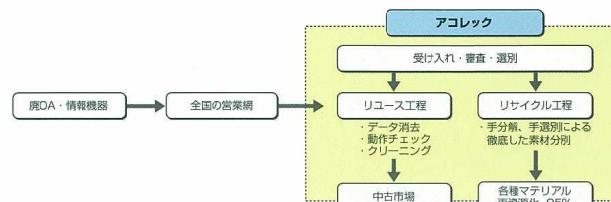
●分析風景

パソコンの再利用・再生で 資源リサイクルの社会ニーズに対応

アサヒブリッテックは、独自のノウハウとインフラを最大限に生かした廃OA・情報機器のリユース・リサイクル事業を展開しています。

アサヒブリッテックの全国20ヵ所の営業拠点が收集運搬サービスを担当し、パソコンリサイクルセンター(兵庫県尼崎市、通称アコレック)に集めた後、リユース工程では、修理・データ消去・動作チェック・クリーニングを経て中古市場に販売します。また、リサイクル工程では、解体・選別により徹底的に素材分別され、使用材料の95%が再資源化されます。

また、NPOとの協働で、リユースパソコンの活用、市民参加型リサイクルなど、環境保護に関する啓蒙活動も推進しています。



全国をカバーするきめ細かな営業ネットワーク (6工場・20営業拠点)



ライセンス

産業廃棄物収集運搬業許可

47都道府県57政令市

産業廃棄物中間処分業許可

12道県7政令市

特別産業廃棄物収集運搬業許可

47都道府県57政令市

特別産業廃棄物中間処分業許可

12道県6政令市

CORPORATE DATA

●会社概要

創業/1952(昭和27年)7月
設立/1964(昭和39年)4月
資本金/27億3,700万円
代表者/代表取締役社長 山寺満春
従業員数/723名(2004年3月末現在)
売上高/341億2,500万円(2004年3月末現在)

●会社概要

貴金属・希少金属原料の仕入れおよび再生・精錬
貴金属・希少金属の加工・販売
貴金属・合金の製造・販売
化成品の製造・販売
電解式金・銀回収装置の製造・販売
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の無害化処理
貴金属の分析
各種水質・汚泥の分析

●関連会社

株式会社三商
株式会社大門
株式会社エコマテリアル
ASAHI G&S SDN BHD (マレーシア)
上海朝日浦力環境科技有限公司(中国)
日本ケミテック株式会社

●本社/連絡先

〒650-0011 神戸市中央区加納町4-4-17 ニッセイ三宮ビル
TEL(078)333-5600(代)
FAX(078)333-5681

●主要取引先(順不同・敬称略)

三井物産 松下電工
三菱商事 住友電気工業
住友商事 三菱重工業
住友金属鉱山 新日本製鐵
三菱マテリアル 神戸製鋼所
ジャパンエナジー 旭硝子ファインテクノ
トヨタ自動車 日立化成工業
富士写真フィルム ミノルタ
コニカ ノーリツ銅機
コダック 大日本印刷
ジョンソンマッセイ・ジャパン・インコーポレイテッド 凸版印刷
ディーエムシースクエア・ジャパン 大日本スクリーン
三菱電機 朝日新聞社
松下電子部品 毎日新聞社

読売新聞社
日本経済新聞社
財務省造幣局
国・公立病院
ジャスマート
カメラのキタムラ
55ステーション
写真屋さん45



アサヒブリッテックの社名には、「貴金属(PRECIOUS METAL)、環境(Environment)」の事業領域での高い技術(TEC=TECHNOLOGY)を指向する会社という意味が込められています。Pの文字は「貴金属事業」にかけた青色と貴金属の焰焼時の炎の色を表す鮮やかな赤色、Rの文字は資源の「リサイクル事業」できれいな水を守り続けたいとの想いを当社のロゴマークのカーブの部分で表現しているのです。「環境と全産業」で社会に貢献し地域環境を守ろうとの企業姿勢を込めたイメージの緑色で表現しました。